

水泳教室でレベルアップ！

7月30日から8月1日にかけて、スポーツ推進委員等の指導員が中心となって中央・トナム水泳プールで水泳教室を開催しました。中央とトナムで延べ33名の児童が参加し、パタ足や息継ぎ、体の浮かせ方等の基礎的なことから、クロールや平泳ぎ、背泳ぎ等の泳法の練習まで、子どもたちは自分たちのレベルに合った指導を受けていました。

タイム記録会で自己ベストを更新した人から、頭まで潜れるようになった人まで、参加した子どもたちそれぞれが教室の成果を出していました。



ジュニアリーダーキャンプ in ニニウ

毎年行っている公民館と北翔大学(江別市)による連携事業、「占冠村ジュニアリーダーキャンプ」が8月2日から3日までの2日間、ニニウキャンプ場で開催されました。今年は北翔大学から学生3名が参加し、村内の小学校5・6年生10名に対してテント設営や飯ごうを使った炊事体験の指導等を行いました。子どもたちは様々な体験学習やレクリエーションを通して、キャンプの楽しさや自分で考え行動する力を学んでいました。

また、本事業の実施にあたり、物品の提供や運営協力など様々な方からご支援をいただきました。この場をお借りしてお礼申し上げます。



ピカソ、ダリ、山口蓬春、三岸好太郎など 有名作家の作品が直に見られる

北海道立近代美術館では、毎年「移動美術館」と題し、所蔵する作品の中から選りすぐった作品を道内各地域に巡回する展示会を開催しており、今年度は占冠村で展示されます。

ピカソ、ダリ、シャガール、ユトリロなど海外でも有名な作品のほか、山口蓬春、三岸好太郎など日本の芸術家の作品も展示されます。

本物の芸術作品を間近で見ることができる貴重な展示です。入場無料でどなたでも観覧できますので、ぜひこの機会にご来場ください。

開催期間 平成30年10月4日(木)～10月10日(水)

開催時間 午前9時から午後6時まで

会場 占冠村コミュニティプラザ 多目的ホール

展示作品 海外の美術(油彩・版画)、日本の美術(日本画・油彩・水彩・版画・彫刻・金工)、ガラス工芸など

【野生動物対策の状況について】

村内の野生動物に関する情報をお知らせいたします。

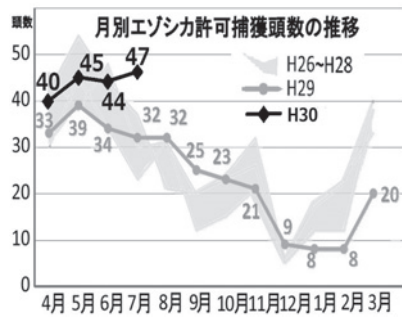
■お問い合わせ

林業振興室

電話 56-2174

エゾシカ

7月のシカ捕獲数は47頭で、前月までに続き昨年より高い数で推移しており(右図)、農業被害抑制への効果が期待されます。子ジカたちはずいぶん大きくなり、母親やお姉さんと一緒に行動する姿をよく見ます。この時期の成長は著しく、7月に20kg程度だったものが今や30kgを越えています。これから冬の初めまでに多くが40kgを越えますが、冬の間に痩せて、再び今と同じくらいになってしまいます。



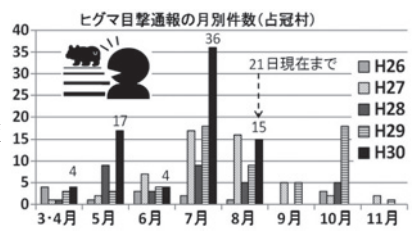
ヒグマ

7月以降、上トマムと双珠別を中心に、ヒグマの出現が記録的な頻度でした(右上図)。この間、少なくとも上トマムでは単独2頭と親子2組、双珠別でも別の単独3頭と親子2組がいたと見られます。餌は大半がフキを中心とする草本と、蟻のようでした。集落近くでの活動は、人馴れだけでなく、有力個体からの逃避など、繁殖期であることに関係する理由があるのではと考えています。両地域での動きは8



村道を歩く雄グマ (7月29日・上トマム)

月半ばには概ね落ち着く気配を見せていますが、双珠別の中小型個体1頭が依然として人家近くでの行動を繰り返しています。



一方、中央と占冠のデントコーン(飼料用トモロコシ)畑は、8月11日までに全23か所中、少なくとも8か所で侵入と食害が始まりました。畑周辺では巡回により情勢把握と牽制に努めるほか、銃および箱わなで捕獲する態勢をとっています。8月中旬現在までの捕獲は雄成獣1頭でした。

畑への侵入は9月後半の収穫後も続く予想されます。人身事故を防ぐため、畑の中だけでなく、隣接する河川や林地にも立ち入らないよう心がけましょう。



畑に潜むヒグマの親子 (8月17日・中央)

最新の情報は広報折込みや、村ホームページの「ヒグマ出没情報」をご覧ください。

アライグマ

8月以降、中央の宮下地区でスイートコーンの被害が多発しました。重点的に捕獲努力を投じた結果、1頭を捕獲しました。また他の地区でも散発的に被害が確認されています。

記録が残る昭和43年以降、全国で交通事故死がゼロであった日はありません。一人ひとりが交通ルールを正しく守り、思いやりのある交通マナーで、交通事故死ゼロをめざしましょう。

9月30日は交通事故死ゼロをめざす日です

横断前に左右をよく確認しましょう。さらに、道路中央で左をまた確認しましょう。外出するときは、明るい服装や反射材を身につけましょう。

○飲酒運転は悪質な犯罪です
「飲酒運転をしない、させない、許さない」を徹底し、二日酔い運転を含めた飲酒運転を根絶しましょう。

○ドライバーの皆さんへ
夕方から夜間にかけて、歩行者や自転車、見落としや発見の遅れによる交通事故を防ぐために、対向車や前車がない時は、ライトをハイビームに切り替えましょう。特に、右から横断してくる歩行者に注意しましょう。運転する前には、同乗者全員がシートベルトとチャイルドシートを正しく着用しているか確認しましょう。

秋の全国交通安全運動が9月21日〜30日の10日間で実施されます。次に掲げるポイントに注意し、交通事故防止に努めましょう。

秋の全国交通安全運動の実施



占冠駐在所 56-2110